

# PUPS 通信 第4号

## PUPS 通信 第4号 「先取り講座」特集

16日の第3号に続いて、第4号をお送りします。

本号では、3月に入ったら始まる「先取り講座」の概要についてお伝えします。

総合文化学科の4領域から6講座（計8回分）、地球市民学部の2領域から2講座（計3回分）、基幹教育機構から2講座（計4回分）、全部で15回分の動画を準備中です。

本号では、講座のテーマや概要、担当教員から皆さんへのメッセージをお伝えするだけですが、それでも、かなり長いメールとなりました。充実した内容の講座になることを感じていただけたらと思います。

どの講座を視聴するのも自由です。全部視聴していただいてももちろん構いません（というか、歓迎します）。今から楽しみにしてください。

なお、具体的な視聴方法は、皆さんに郵送でお送りした書類の中に記載しています。

PUPS 通信第6号でも改めてお伝えする予定です。

### ◆佐伯 孝弘（総合文化学科 日本文化領域 教授） 2回開講

#### 【テーマ】

日本の幽霊と妖怪

#### 【概要紹介・メッセージ】

大学は、正解を暗記する要素の強い受験勉強とは異なり、考え方や調べ方を身に付けたり、正解のない事柄について解決法の模索を含めて答えを見付けて行くための訓練をしたりする「学び」の場です。

この講座では、日本の幽霊・妖怪についての通史的概説を行うと共に、その背景となる日本人の死生観や支配的宗教等について講じます。そもそも、幽霊・妖怪といった怪異が、どうして学術的、しかも学際的に（=多くの分野の学問に跨がる形で）考察されているのか、その意義についても触れたいと思います。

#### 【受講前に準備しておくこと】

特に要りません。幽霊・妖怪・超常現象といった怪異に、知的興味を持っている人なら、誰でも気軽に受講して下さい。

テキストを購入する必要はありません。

◆ クリストファー・ベイン Kristofer Bayne (総合文化学科 国際文化領域 英語専攻) 教授 1回開講

**【テーマ】**

Fantastic Cultural Analogies and Where To Find Them

ファンタスティックな文化的類推と見つける場所

**【概要紹介・メッセージ】**

‘Culture’ is a word that everybody knows. And everybody can quite easily imagine examples of ‘culture’. But ‘culture’ is much more than what people believe. Professor Bayne’s specialty area at Seisen University is intercultural communication. For that topic, it is most important to firstly understand the depth and width of ‘culture’. There are many ways to reach this understanding. This course lecture will focus on one simple way to start the process. Professor Bayne will explain - in a fun and active but informative way - three popular analogies, and an unusual one of his own. Participants are invited (voluntary) to take part in some tasks, including making their own analogy. It will conclude with a look at a variety of analogies made by Professor Bayne’s students. Participants should take away a better understanding of ‘culture’ that can help them in future studies or even life! Fantastic!

「文化」は誰もが知る言葉です。そして誰もが「文化」の具体例を容易に思い描けます。しかし「文化」は人々の認識をはるかに超えた存在です。清泉女子大学のベイン教授の専門分野は異文化コミュニケーション。このテーマにおいて最も重要なのは、まず「文化」の深さと広がり理解することです。その理解に至る道筋は数多く存在します。本講義では、そのプロセスを始めるための簡潔な方法に焦点を当てます。ベイン教授は、楽しく活発でありながら有益な方法で、三つの一般的な類推と、教授独自の珍しい類推を解説します。参加者は任意で、自身の類推を作成するなどの課題に参加できます。最後に、ベイン教授の学生たちが考案した様々な類推を考察します。参加者は「文化」に対する理解を深め、今後の研究や人生に役立てられるでしょう！ ファンタスティック！

**【受講前に準備しておくこと】**

Participants should have paper (at least B4) and pencil for activities.

参加者は活動用に紙 (B4 サイズ以上) と鉛筆をご用意ください。

テキストを購入する必要はありません。

(ベイン先生は、先取り講座の授業を英語でおこないます。ゆっくりと、わかりやすくお話しされます。)

◆ ササキ・アンナ（総合文化学科 国際文化領域 英語専攻 専任講師） 1 回開講

【テーマ】

フィクションにおける通訳者像

【概要紹介・メッセージ】

近年、国際的なコミュニケーションにおいて通訳者の重要性が改めて注目されています。研究の分野でも、通訳の技術だけでなく、その社会的・文化的役割に関心が向けられています。同時に、映画や小説といったフィクションの中でも通訳者が重要な存在として描かれるようになりました。本講義では、映画に登場する通訳者に注目し、とくに「忠実さ」がどのように描かれているのかを考えていきます。

皆さん、こんにちは。

国際領域英語担当のササキアンナです。翻訳を教えています。

今日の講座を作るにあたって、AI の力を借りて、自分自身のアバターや、AI で作成した音声を使って進めてきました。

特に音声の編集については、翻訳の授業で吹き替えを制作する際に、学生の皆さんと一緒に何度も活用してきた技術です。

それでは、講座をお楽しみください。

【受講前に準備しておくこと】

テキストを購入する必要はありません。

◆ ホアン・カルロス・モヤノ Juan Carlos Moyano（総合文化学科 国際文化領域 スペイン語専攻 准教授） 1 回開講

【テーマ】

はじめてのスペイン語とスペイン文化 — 楽しく学ぶ入門レッスン

【概要紹介・メッセージ】

この講座では、スペイン語のやさしい単語や表現、そしてスペインの魅力的な文化について、動画を通して楽しく学びます。授業は、実際の教室の雰囲気に近い形で進め、私自身が作成した動画や、清泉女子大学の学生が授業内で制作した動画も使用します。動画を見ながら、ぜひご自宅で声に出してスペイン語の単語を言ってみてください。外国語を学ぶ楽しさや、スペインという国への興味を感じてもらえたらうれしいです。こ

の講座をきっかけに、清泉女子大学でスペイン語を学んでみたいと思ってもらうことを目標としています。

スペイン語の知識はまったく必要ありません。リラックスして、楽しむ気持ちで動画をご覧ください。途中で一時停止したり、何度も見返したりしながら、自分のペースで学んでください。

**【受講前に準備しておくこと】**

テキストを購入する必要はありません。すべて動画資料と画面共有 (PowerPoint・映像)で行います。

◆ 木村琢也 (総合文化学科 国際文化領域 スペイン語専攻 教授) 1 回開講

**【テーマ】**

予備知識ゼロからのスペイン語発音講座

**【概要紹介・メッセージ】**

あなたは今スペイン語をどのくらい知っていますか？ ひとつも知らない？ 心配いりません。そんなあなたのために動画リスト「予備知識ゼロから始めるスペイン語発音講座」を準備しました。日本語母語話者がスペイン語を学ぶ際には「こんにちは」や「ありがとう」よりも先に正しい発音、そして綴り字と発音の関係を理解しておくのが得策です。これは英語とかなり違う点です。「ドン・キホーテ」をスペイン語では Don Quijote と書きます。ちょっと不思議だと思われかもしれませんが、私の発音講座を見れば納得できるようになります。4月までにスペイン語の綴りを見て正しく発音できるようになっていると、最初の大きなアドバンテージになりますよ。すでにスペイン語を知っている人にとっても役に立つ内容であることを約束します。

**【受講前に準備しておくこと】**

テキストを購入する必要はありません。

◆ 佐々木守俊 (総合文化学科 文化史領域 教授) 2 回開講

**【テーマ】**

日本美術史を楽しむ 一仏像と浮世絵一

**【概要紹介・メッセージ】**

この講座では、日本の美術作品のなかでも特に人気の高い仏像と浮世絵に注目し、その

歴史のあらましと鑑賞のポイントをお話しします。仏像は仏教の信仰における礼拝対象として、飛鳥時代から制作されるようになった彫刻です。これに対し、浮世絵は庶民が楽しむための絵画で、江戸時代を代表する美術として親しまれています。制作目的も性格も異なる2つのジャンルの作品を見てゆくことで、日本美術の幅広さ、奥深さに触れて頂ければうれしいです。難しい知識は不要です。仏像と浮世絵の意外なおもしろさを味わって下さい。

**【受講前に準備しておくこと】**

予習の必要はありません。もし興味があれば、図書館などで美術全集などをパラパラめくっておいて下さい。テキストを購入する必要はありません。毎回、レジユメを作成して配布します。

**◆ 辰巳頼子（地球市民学部長 地域共生領域 教授） 2回開講**

**【テーマ】**

第1回：ようこそ！ 地域共生領域の学びへ

第2回：さあペンを置いて、世界の話しよう！（ソーシャルデザイン第2回と同一）

**【概要紹介・メッセージ】**

第1回：

私たちは様々な人たちとともに生きています。会ったことや話す機会がなくて、あまり実感することはないかもしれません。でも言葉が違う、人種が違う、宗教が違う、出身が違う人たちと、今この時も同じ時間や場所を共有しているのです。では多様な私たちが、住みよい社会を作っていくためには、何が必要でしょうか？

この体験ミニ講座では、地域共生領域の教員が、各々の専門について短く話しています。暮らしのなかのリアルな課題や、遠くに感じる国際的な問題についても、地球市民学部では幅広く学べます。魅力的な人々との新しい出会いが、自分から遠くに思えた世界を身近なものにしてくれます。この講座はそんな学びを少しだけ紹介します。

第2回（ソーシャルデザイン第2回と同一）

地球市民学部は、学内で教員やクラスメートと共に学びながら、ボランティアやインターンシップに出かけて学外でも学びます。学外といっても、行き先や形態はさまざまです。それぞれの興味関心に応じて、教員やアドバイザーの助言を得ながら、どんな体験を試みたいか決めていきます。

この体験ミニ講座では、地球市民学部の教員が、フィールドワークについて話します。なぜ人と出会うという経験が大事なのか？ 実際どんな場所に行けるのか？ フィールド

ワークの楽しさを紹介します。

**【受講前に準備しておくこと】**

テキストを購入する必要はありません。

◆ 辰巳頼子（地球市民学部長 地域共生領域 教授） 2 回開講

**【テーマ】**

第1回：ようこそ！ ソーシャルデザイン領域の学びへ

第2回：さあペンを置いて、世界の話しよう！（地域共生第2回と同一）

**【概要紹介・メッセージ】**

第1回：

お店で物を手にした時、もっと違うデザインのものがあれば便利なのに、もっとかわいいものがあるのに、などと思ったことがあるかもしれません。私たちの暮らしを便利にしたり楽しくしたりするグッズ／モノはとっても魅力的ですね。でも私たちの暮らしをより良くする「仕組み」があったら、さらに心地よく過ごせるようになるのではないのでしょうか？

この体験ミニ講座では、ソーシャルデザイン領域の教員が、各々の専門について短く話しています。誰かの困りごとを新しい仕組みで解決する—そんなワクワクする科目が、地球市民学部には多くあります。この講座ではそんな学びを少しだけ紹介します。

第2回：（地域共生第2回と同一）

地球市民学部は、学内で教員やクラスメートと共に学びながら、ボランティアやインターンシップに出かけて学外でも学びます。学外といっても、行き先や形態はさまざまです。それぞれの興味関心に応じて、教員やアドバイザーの助言を得ながら、どんな体験をしてみたいか決めていきます。

この体験ミニ講座では、地球市民学部の教員が、フィールドワークについて話します。なぜ人と出会うという経験が大事なのか？実際どんな場所に行けるのか？フィールドワークの楽しさを紹介します。

**【受講前に準備しておくこと】**

テキストを購入する必要はありません。

◆ 竹田文彦（基幹教育機構 建学の精神科目等担当 教授） 2 回開講

【テーマ】

第 1 回：カトリック大学で学ぶということ

第 2 回：聖書を読んでみよう

【概要紹介・メッセージ】

第 1 回：

1. 宗教とは
2. 信仰とは
3. キリスト教とは
4. カトリックとは
5. 修道会
6. 聖心侍女修道会とラファエラ・マリア
7. ミサ

清泉女子大学に入学される皆さんは、すでにご存じのことと思いますが、清泉女子大学は、建学の精神として「まことの知、まことの愛」を掲げ、キリスト教ヒューマニズムに基づく教育を行うカトリック大学です。この講座では、カトリック大学で学ぶことの意味をお話ししたいと思います。特にこれまで宗教の理念を背景とする教育機関で学んだことのなく、初めて宗教系の大学に学ぶことに不安に感じておられる方もいらっしゃると思いますので、キリスト教とはいかなる宗教で、またキリスト教の中でもカトリックの特徴とは何かをお話ししたいと思います。

第 2 回：

1. 最も大切な掟（「マルコによる福音書」第 12 章 28～34 節？ 神をいかにして愛するのか？
2. 善きサマリア人のたとえ話（「ルカによる福音書」第 10 章 25～37 節）？ 隣人愛とは

カトリック大学では、しばしば授業の中でキリスト教の教典である聖書に言及したり、引用されることがあります。皆さんの中には聖書という書物を知っていても、実際に読んだことがない、あるいは、読んだことがあってもその内容をよく理解できないと感じておられる方もいると思います。そんな皆さんのためにこの講座では、聖書から特に重要な二つの箇所を選んで、一緒に読み、その箇所が伝えようとしている意味について考えてみたいと思います。キリスト教は、「愛の宗教」と呼ばれ、神を愛することと人を愛すること（隣人愛）が大事ですが、それは実際、どういうことなのかお話ししたいと思います。

**【受講前に準備しておくこと】**

テキストを購入する必要はありません。

(なお、入学後に、大学が指定した「聖書」を購入していただきます)。

◆ 福田 健 (基幹教育機構 情報科学科目等担当 教授) 2 回開講

**【テーマ】**

AI の知と人間の知って何が違うの？

**【概要紹介・メッセージ】**

チャッピーなどの生成 AI とおしゃべりして、「こいつ、何でもできそうだけど、でも何かが人と違う」と感じたことはありませんか。

はい、AI の知と人の知の間には決定的に違う点があります。それを理解することは、プロンプト (AI への指令文) の書き方を知ることにも増して、AI を活用するために大切です。

この講座では、プロンプトの書き方や活用方法の話は出てきません。プロンプトの書き方や活用方法は AI の進歩によって変わりますが、この講座で学べる内容は数年以上筋が変わりません。また、この講座では、AI の仕組みを数式で説明するわけではないので、数学や情報の知識を必要としませんが、今後、AI がどのように進化して何が進しづらいつのかを予期できるようになります。

**【受講前に準備しておくこと】**

テキストを購入する必要はありません。